



日常の中に安らぎを

蛇松緑道

白銀町から狩野川河口の蛇松町まで続く遊歩道、蛇松緑道。全長約1.8km続くこの緑道は、かつては沼津駅と沼津港を結ぶ国鉄沼津港線が敷かれていましたが、昭和49年に廃線となり、跡地には市民の憩いの場として緑道が整備されています。

緑道には植栽がなされ、春には桜、夏には百日紅、秋には金木犀、冬には山茶花など約120種、1万4千本の草花が辺りを彩り、四季で違った姿を楽しむことができます。

小春日和の中訪れてみると、緑道内に所々設置してあるベンチに腰掛けながらシャボン玉を飛ばし遊んでいる親子、ウォーキングをする若者、友人と話しながらゆったり散歩をしているお年寄りなど、幅広い年代の人々が思い思いの時間を過ごしています。緑道の周辺は由緒あるお寺が立ち並ぶ閑静な住宅街となっていて、街中の喧騒を離れてゆったりとした時間を過ごすことができます。

一年間のうち300日以上、緑道の掃除をしている蛇松緑道白銀町愛護会の増山さんは「私が小さい頃蒸気機関車が走っていたこの場所が、廃線となった今では小学生たちの通学路となっているのが嬉しいです。子どもたちが季節の花で彩られたこの緑道を通して、心豊かに育ってくれたらいいですね」と話してくれました。

役割を変えた今でも人々の日常の中にある蛇松緑道は、これからもきっと、私たちに憩いと安らぎを与え続けてくれることでしょう。

◎緑地公園課 ☎055・934・4795